



# 兵庫支部NEWS H20年 5月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

## 兵庫支部またまた大敗

### 第10回兵庫・関西囲碁交流会

平成15年2月に始まった兵庫支部「囲碁の会」と関西支部「囲碁同好会」との交流戦は今回で10回目を迎え、兵庫支部主催で4月26日(土)午後1時から神戸三宮サンパルビル2Fの囲碁クラブ「神戸サロン」において関西支部から8名、兵庫支部から5名が参加して開催された。



(交流戦風景)

別掲の通り兵庫支部が5勝13敗と第9回(7-19)に続いて大敗を喫し、対戦成績は5勝5敗のイーブンになった。

関西支部は今回初参加の3名も含めて3段~7段の高段者ばかりで、有段者は平間3段のみという兵庫支部は、まさに胸を借りる戦いで、



(交流戦風景)

終了後、兵庫支部月例会「三金会」会場である「雲南茶苑」において、御堂関西支部長、大村兵庫支部長も加わり懇親会が開催された。(成績表は3頁に掲載)



(雲南茶苑にて左から、安徳、御堂、名越、長谷部、都留、小葉徳丸、平間、茨木、永田、藤本、辰野、大村)

## 支部総会会費は6千円・4千円に 会場は新装開店イタリアン「アマーヴェル」

兵庫支部月例会「三金会」4月例会は、4月第3金曜日の4月18日午後6時から定例会場「雲南茶苑」にて開催された。



(左から前原、安徳、藤田、三宅、山本、名越、大村、河野、山田)

出席者:大村実良(33商) 藤田博保(35商) 河野旺生(36商)  
山本信司(37米英) 平間正昭(37商) 名越英昭(37米英)  
前原賢作(40商) 安徳信義(44商) 山田紘昭(44商)  
三宅隆志(59中国) 以上10名

先ず大村支部長から故銭谷前支部長に対する香典等の最終結果について報告があった後、三宅幹事から、支部総会会場について説明があった。

6月10日新装開店の予定で、それまで下見は出来ないが、総会会場として十分なスペースは確保できるとのこと。店名・住所は下記の通り

### 「アマーヴェル」

神戸市中央区小野柄通6-1-9 富士ビルB1F

(ポートライナーの通り、東急イン向い(南)側)

会費について、男性6000円、女性4000円のできる見込みとすることで暫定的にそうすることに。

支部総会前の役員会を開催すべく、19年度の収支報告書の作成、監査の日程について協議。会計幹事の都合を確認して決めることに。

横浜にコーラス演奏会に出席し、とんぼ返りして出席の平間氏から、兵庫・関西囲碁交流会を4月26日神戸で開催し、その後の懇親会「雲南茶苑」で予定していると報告があった。

## 「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

中国 雲南茶苑

Tel. 078-271-1168

神戸市中央区中山手通

1丁目24-4

ドラゴンズビルB1F

「三金会」

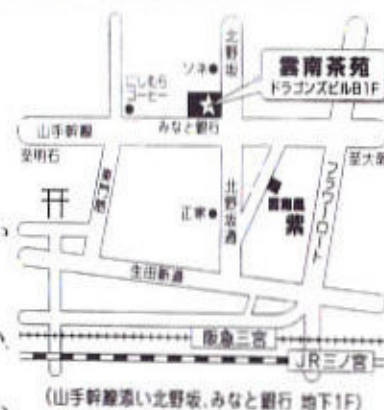
毎月第三金曜日 午後6時か

会費:3,500円

中国雲南省の家庭料理を  
ご賞味ください。

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時か



(山手幹線隣の北野坂、みなと銀行 地下1F)

損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

## 大村保険サービス

代表 大村 実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

## 「中期計画」約90%達成



矢田学長入学式式辞よ

去る4月7日(月)に挙行された平成20年度入学式で矢田学長が新生とその保護者達に対して、北九大の現状及び改革状況について詳細に説明されているのでその一部をご参考までに読者諸氏にご紹介いたします。

\*\*\*\*\*

「2年前の平成17年に法人化し、「公立大学法人北九州市立大学」として再出発した。これによって、北九州という行政機関の規則に縛られることなく、自由に教育・研究活動ができるようになり、6年間の「中期計画」に基づき、教育・研究・社会貢献・経営の四つの分野で本格的な改革を実施し、丁度半分が経過した。この間、理事長・学長・副学長・学部長・研究科長等を中心に、教職員一体となってスピード感のある改革を実施してきた。169項目にのぼる改革項目のうちすでに約90%を完了するなど、全国的にも注目される改革を遂行している。

いままでの改革の内容は四つに集約される。

一つは、平成19年度の基盤教育センターの設置、外国語学部外国語学科英語専攻、中国語専攻の英米学科、中国学科への昇格、平成20年度の国際環境工学部環境化学プロセス工学科のエネルギー循環化学科と環境生命工学科への再編など学部・学科の大幅な再編成です。平成21年度には、北方4学部の夜間主コースを廃止し、新たに夜間主コースを含む地域創生学群を新設し、地域を担う人材の育成を始める。なかでも「基盤教育センター」は、全国的に教養教育の空洞化が指摘されるなかで、複雑かつ不透明な21世紀を一人の人間として生き抜く力、いわゆる「人間力」の基礎をつけることを目指して、30余名の充実した専任教員のもとで、新たな理念に基づく教育を行うもので本学の特色となっている。20年度から「ひびきの分室」を設置し、国際環境工学部の基盤教育の充実を図る。また時代の流れや学問の発展に合わせて全学部でカリキュラムを見直し、演習や少人数教育を強化しつつ、専任教員担当比率を大幅に高めるため、授業科目を精選し、約20%削減した。

改革の第2は、平成19年度のビジネス・スクールの設置、平成20年度の外国語学、人間文化、経済学の3研究科の廃止と社会システム研究科博士前期課程の4専攻への編入、国際環境工学研究科の環境システム専攻の設置など大学院の再編です。このなかで、ビジネス・スクールは、地域の社会人の経営専門職人材の育成のために、地元の経済界の強い支援のもとに創設したもので、2年目を迎える。また、これまでに設置された二つの研究科の博士課程での博士号取得率は社会システム研究科で35%、国際環境工学研究科で55%と全国平均を大幅に上回る水準を誇っている。

改革の第3は、正規の講義以外の多様な学生生活の支援の強化です。平成18年度にキャリアセンターを設置し専任の教員を置くとともに、キャリア教育の実施、就職支援の強化を実施した。また、平成19年秋

に本館に「学生プラザ」を設置し、学習・進路・就職生活・健康・悩みなど様々な相談機能を一箇所に集中し、ワンストップで学生相談に対応する体制を作った。また、学生の自主活動を支援するプロジェクト・ルームも併設した。開設以来一日約122名の学生が利用し、まさに「プラザ」の名に相応しく学生が日常的に集う場となっている。さらに、語学やゼミなどの少人数の必修科目を「センサー科目」として出席状況をチェックし、学生に不測の事態が生じていないか把握に努めている。昨年は、少数の学生の心身の不調を発見し、早期に適切な対応をすることができた。



(学生プラザ風景 - 北九大HPより)

改革の第4は、海外からの留学生支援の充実と海外への派遣学生の大幅増加によって、本学を異文化交流キャンパスにすることです。本学は、「国際教育交流センター」の活動、「フォーラムこくら南」、「ボランティアひびきの」等ボランティアの皆さんの支援、同窓会や後援会による資金援助が一体となって、「日本一留学生に親切な大学」と報じられるほど充実している。さらに、欧米やアジアの多数の姉妹校との交換留学制度で毎年20人以上の学生が外国で学び、ほぼ同じ数の学生が派遣されてきている。さらに今年度からアメリカのタコマ・コミュニティ・カレッジに毎年50名を半年派遣する制度を実施する。

以上のような、学部・学科の再編、大学院教育の充実、学生生活支援、留学生支援の強化の4分野における大胆な改革により、北九州都市圏の18歳人口の急激な減少に抗して受験者数が2年連続増加し、就職率や就職決定率も大幅に上昇した。また、全学の教員数が平成17年の230名から平成20年の260名へと実に30名増加し、教員一人当たりの学生数が大幅に改善された。また、女性の教員比率も9%から、14%と着実に増加している。第三者評価機関からも2年連続高い評価を得るなど、改革の成果が数字となって現われている。(次ページに続く)



## 投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など  
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

## 広告大歓迎

掲載料:1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

## 北九大の現状と改革状況(つづき) 矢田学長式辞より

こうした改革の目標は、ひとえに、「教育の質の向上」にある。第二次世界大戦後の学制改革によって、国立、公立、私立の大学が多数開設された。その後、日本経済の高度成長、団塊や団塊ジュニア世代を核とする人口増加と進学率の上昇によって、現在大学は約740となり、大学進学率は52%と同世代の二人に一人が大学に進学し、入学者は実に約60万人に達している。日本の大学も、アメリカ同様、同世代の過半が大学生となる「ユニバーサル」段階に達した。この間、入学志願者増の波に乗って大学が増え続けたため一般企業と異なり、大学間の厳しい経営競争は避けられてきた。あるのは、若者世代の厳しい受験競争であり、偏差値による大学間の格付けがこれに拍車をかけた。大学もまた、経営の安定と大学間の格付けの固定化に甘えて、大学の自治を根拠に「教育の質の向上」のための経営努力を怠ってきたことは、否定できない。



(北方キャンパス本館)

しかし、20世紀末から21世紀にかけて状況は一変した。平成7年をピークに18歳人口は減少しはじめ、そのスピードは加速しつつある。当然受験生も減少傾向にあり、急増した

大学も学生を確保できずに倒産する大学がでてきた。

今後、一気に増加することが十分予想される。

受験生の数と入学定員が一致する「大学全入時代」に突入している。受験競争が「大学間競争」に

一転している。大学を選べる時代になったのだ。長く

定着してきた大学のブランドも大学経営の優劣の差によって、崩壊しつつある。国公立大学の法人

化も競争に一層拍車をかけている。大学間競争にあって、最も肝心なことは、今までのブランドに安住することなく、大胆な改革によって「教育の質を向上」することである。それには、時代に合った学部・学科、大学院を再編するとともに、カリキュラムやクラスメ

編成、個々の講義内容や授業方法の改善、そして授業

以外の生活支援の強化です。また、広範囲の地域や分野からの優れた教員の採用も欠かせない要件です。

改革の中身こそが問われており、北九州市立大学はこうした厳しい時代をチャンスととらえ、教職員一体となった「教育の質の向上」を果たしブランドの大幅アップを目指している。

平成20年度第1回評議会開催予定

来る5月17日(土)午後4時から、平成20年度第1回評議会が、ホテルニュータガワ(小倉北区古船場町)において開催される。

支部長が評議員を兼務することになって、初めての評議会となる。兵庫支部からは大村支部長が出席予定である。主要議題は①19年度事業(会務)報告、決算報告及び監査報告の件、②20年度運営方針、事業計画及び予算の件、③会長の選出の件、④20年度・第58回総会及び懇親会開催の件等々である。

熱戦続く「囲碁の会」

3月からスタートした第13回リーグ戦は2日目となり熱戦を展開。平間会長はコーラス演奏会で横浜へ遠征の為欠席となったが、他のメンバー全員が出席。

8月には大詰めを迎える予定だ。

編集後記

\*ご心配をお掛け致しましたがなんとか快復、5月7日CT再検査で炎症の影は小さくなっており、その裏にも肺がんの影はなし、とお墨付き。

\*病み上がり故か、風邪をひき易く、当面は無理をしないつもり。

\*関西支部囲碁同好会メンバーは高段者が多いのに感心。兵庫県下にも高段位の同窓生が、もっともっと居られるのでは、と

\*母校の改革状況、発展状況はご理解いただけましたでしょうか?母校の発展は卒業生として本当に嬉しいものですね

5月15日記

第10回兵庫・関西囲碁交流戦成績表

於 囲碁クラブ「神戸サロン」平成20年4月26日(土)

	茨木 7段	辰野 7段	藤本 6段	長谷部 5段	徳丸 5段	永田 5段	小葉竹 4段	都留 3段	兵庫成績
平間3段	X		X	○			X		1勝3敗
名越3級	X		X			X			0勝3敗
前原4級		X	X	○	○	X			2勝3敗
河野7級				X				X	0勝2敗
安徳8級		X	○				X	○	2勝2敗
関西成績 13勝5敗	2勝0敗	2勝0敗	3勝1敗	1勝2敗	0勝1敗	2勝0敗	2勝0敗	1勝1敗	

参加者：関西支部一茨木幹夫7段(34米英)辰野博7段(46経営)藤本隆夫(47経済)長谷部新5段(35商)

徳丸博5段(37商)永田義彦5段(46経済)小葉竹英樹4段(40商)都留猛3段(32米英)

兵庫支部一平間正昭3段(37商)名越英昭3級(37米英)前原賢作4級(40商)河野旺生7級(36商)

安徳信義8級(44商)



(熱戦を展開する囲碁の会4月例会)

### 歩こう会 4月例会 (第80回)

### 観桜会@姫路城

二宮慶治郎(38米英)記

4月例会は4月13日(日)姫路城内で花見の宴となった。

JR姫路駅に10時集合。姫路城までのんびりと、御幸通りの商店街を歩き、途中で惣菜やら、お酒等を仕入れる。

世界遺産姫路城は来年度から3年をかけて平成の大修理が予定されており、この優美な姿とも暫くお別れとなる。時期的に桜の花はすでに散ってしまっている



(姫路城と桜の花)

のではと心配されたが、幸いにもまだ十分に花見を楽しめる状況であった。



(花見の宴を終えて)

振る舞いですっかり酔いが回った事や、広島転居前の長岡夫妻も参加されていた事が思い出される。

前回同様今回も地元在住の後藤副支部長と永翁幹事には、弁当や饅頭の差し入れや、周辺の案内などの強力なバックアップをいただき大変心強かった。

今回の参加者はゲストを含め13名。同窓生は後藤、永翁、河野、安徳、久芳、二宮の6名。ゲストは岡本氏、安徳氏子息夫妻、山浦夫妻、佐藤夫妻。

後藤氏から順番に近況を語り自己紹介となる。



(後藤氏と永翁氏)

今回初めて参加されたのは安徳氏ご子息夫妻と山浦夫妻のご友人佐藤夫妻である。

安徳氏のご子息は兵庫県内の社会人野球トップクラス新日鉄広畑の4番打者として活躍中である。佐藤夫妻は神戸在住で、山浦夫妻が海外旅行で知り合い「歩こう会」の存在を紹介され今回初めての参加となった。山浦夫妻は筆者とは元同僚で、寮生活をともにした間柄。九州佐賀出身で兄君は北九大出身と



(安徳氏とご子息夫妻)

いうことで大変親しくさせて頂いている。「これからも出来るだけ参加する」と自己紹介があった。



(城内周辺を散策)

お堀には大きな鯉がゆったりと泳いで、我々一行を歓迎してくれている。皆さん童心に帰り暫らく御堀端に釘付けに。

宴の後は腹ごなしと酔いざましの為、後藤・永翁両氏の案内でお城周辺の散策に出かけた。



(お堀の鯉にご挨拶)



(お城を背に記念写真)

なれないと言う後藤・永翁両氏の案内で「好古園」に入園した。「好古園」は、市制百周年を記念して平成4年に開園した日本庭園で、7次にわたる発掘調査で確認した、かつての武家屋敷の屋敷割や通路の地割等を生かして、9つの大小の庭園群など、池や水の流れて結ばれた回遊式庭園である。

お城周辺の撮影スポットで記念写真を撮りながら、お城の西側にある日本庭園「好古園」へと向かった。

地元であるが故に普段は入園する気になれない



最大の特徴は姫路城を借景としていることである。江戸の情緒を醸し出すたたずまいが時代劇や大河ドラマのロケ地として使われていると言う。

最後に姫路城を一望できるビルに上がり記念撮影し、曇り空ながら雨にも合わず無事JR姫路駅到着し帰路についた。

